



写真提供：災害ボランティア愛・知・人

安全対策も  
しっかりと！

ふだんの暮らしを  
とりもどすための  
応急サポートを。

本修理まで少しでも長持ちさせたい。

# 屋根上ブルーシート張り サポートチーム メンバー募集！！

安全対策あり

まずは下での  
作業からでもOK

現場実習あり

ご協力いただける方は、人数把握のため、事前にご連絡ください。

詳細は裏面

岸和田市災害ボランティアセンター

電話：072-430-3366（担当:青山）

FAX：072-431-1500

メール：vc@syakyo.or.jp

台風21号では、多くのお家が屋根の損傷を受け、まだ応急処置すらできていない方もいらっしゃいます。屋根の修理が終わるまでシートは残り続けますが、張り方を工夫することにより、劣化を抑えることができます。

今回は、全国の被災地で安全対策もしっかりしながら高所作業をサポートされているボランティアの皆さんにご協力いただき、長持ちするブルーシートの張り方のコツを実地で学びながら、岸和田で屋根の応急処置でお困りのお家のサポートをしていきたいと考えています。

日程	平成30年10月 6日(土)・7日(日)・8日(月・祝)・13日(土)・14日(日)・20日(土)
集合時間	全日程とも9:30
集合場所	岸和田市立福祉総合センター 旧南側駐車場 ※旧センターの南門(福祉センター南側の理容室の前)から入っていただきます。
活動時間	10:00～15:30 ※天候により活動内容を変更、または中止する場合があります。最新情報は、岸和田市社会福祉協議会 facebookページでお知らせいたします。
服装 持ち物	動きやすく作業して汚れても良い服装、作業用ゴム手袋、汗拭きタオル、水分(水筒、ペットボトルなど)、塩分(飴など)、靴(すべりにくく作業しやすい靴)、ヘルメット(あれば)、昼食 ※ヘルメット、手袋は災害ボランティアセンターでも貸し出しできます。

## 実際に被災地で高所作業のボランティア活動をされている方のメッセージ



愛・知・人 代表 赤池 博美さん

東日本大震災の時、アウトドアの仲間同士でボランティアに行ったのが始まりでした。被災者の生の声を聴き、この人たちの要望に応えたい、寄り添いたいと思いました。熊本地震では、民間ボランティアセンターを立ち上げ、屋根のブルーシート張り、ブロック塀の修理など、行政では対応できないが、ニーズが最も高く数も膨大な活動にチャレンジしました。

私たちには専門的な技術があるわけではありません。しかし、現場で何百軒という家屋の復旧作業を経験する中で、たくさんの知識が増えました。活動を続けるうち、手伝ってくれる人が全国から集まるようになって、さらに被災者の要望に応えられるようになってきました。被災者に目を向け、自分事に置き換えて考え、参加してくれる人が増えれば、人に優しく、災害に強いまちになれると信じています。



30代 女性 会社員 柳田さん

私が屋根に登ったきっかけ...  
2016年4月熊本地震の時でした。ボランティア仲間がDAWボランティアセンター(愛知人運営)で屋根作業の活動をされてる事を知りました。『やってみたい!』と思いましたが、専門職ではないので迷いました。その方に相談したところ『大丈夫だよ。』と仰ってください、DAWボランティアセンターへ伺いました。屋根に上がる前に注意すべきことなど指導を受けながら初めて屋根に上がらせていただきました。安全対策もしっかりしていただいたので、思ったより怖さはなかったです。それよりも同じ屋根に上がってるメンバーや下でサポートして下さるメンバーの安全にも目配り気配りをしなければいけないので、恐怖感が消えたのかもしれない。女性でも上記のことを気をつけていただければ、問題なくできる作業だと思います。

今回のプロジェクトにご協力いただく方々

災害ボランティア 愛・知・人 / 藤丸 剛さん (泉州在住の個人ボランティア)